

令和5年度「放課後児童支援員等資質向上研修」(前期)開催要綱

1. 目的

「放課後児童支援員等資質向上研修」は、放課後児童支援員及び補助員等に対しての職務を遂行するうえでの必要な知識および技術の習得と課題や事例を共有するための研修であり、放課後児童支援員等の資質の向上を図ることを目的として開催いたします。

2. 主催

三重県 ※委託先：一般財団法人ユマニテク教育支援センター

3. 受講対象者

三県内の放課後児童クラブ、放課後子ども教室に従事している方。

4. 定員

令和5年度(前期)定員150名

5. 令和5年度前期研修日程

令和5年11月6日(月)～令和6年1月5日(金)

※詳細なカリキュラムは別紙記載のとおりとなります。

※一連の研修カリキュラム(全9科目)をインターネットを利用したeラーニングで履修していただきます。

6. 受講者の本人確認について

不正防止のため、受講申込時に、本人確認書類(運転免許証写・マイナンバーカード(顔写真付き)写・パスポート写のいずれか)とシステム登録時の顔認証登録を照らし合わせて本人確認をさせていただきます。また、必要に応じて本人確認をさせていただく場合がありますのでご了承ください。

7. 受講確認について

研修は、パソコン・タブレット・スマートフォン等を使用し、インターネット回線から専用システムに接続し、動画視聴による受講となります。動画視聴は、各自、研修期間内に自由な時間に行うことができますが、動画視聴は通信量が非常に大きくなりますので、Wi-Fi等での接続を推奨します。

動画視聴の際には、不正防止のため、顔認証システムにて、本人による受講の確認を行っています。また、受講中はWebカメラで定期的に受講態度を確認しています(カメラ前からいなくなった場合や、居眠り等を行っている場合には動画が停止することがあります)。

※研修内容について質問がある時は、専用システム内から質問をすることができます。

※専用システムの利用方法等については、受講決定時にマニュアルを送付します。

※動画視聴にあたっては、前述の電子機器及びインターネット回線の準備に加え、顔認証システム導入のため、Web カメラの準備も必須となります。

8. 受講料

無料 ※インターネット等の回線利用料は自己負担となります。

9. システム利用環境

本研修は、パソコン・タブレット・スマートフォン等を使用し、インターネット回線から専用システムに接続して受講致します。システムの利用には前述の電子機器及びインターネット回線への接続が必要となりますので、必ずご準備ください。なお、動画視聴は通信量が非常に大きくなりますので、Wifi 等での接続を推奨しております。また、本人確認及び受講確認の為に顔認証システムを導入しておりますので、**Web カメラも必須**となりますので PC を使用する場合は併せてご用意ください。

<動作環境一覧>

機器	OS	ブラウザ
PC	Windows10、Windows11	Edge（最新版）・FireFox（最新版）・Chrome（最新版）
	MacOS High Sierra10.13 以降	Safari（最新版）
スマートフォン・タブレット	iOS 14.0 以降 iPadOS 14.0 以降	Safari（最新版）
	Android 8.0 以降	Chrome（最新版）

回線速度	下り：512kbps 以上、上り：256kbps 以上
CPU	Celeron1GHz 以上、または CoreDuo1.66GHz 以上、または左記相当以上の CPU

※動作環境外の OS・ブラウザの場合でもシステム自体は見ることはできますが、一部の機能が利用できない場合や、レイアウトのずれ等が発生することがあります。

※ブラウザの JavaScript、Cookie、SSL の設定が有効である必要があります。

※セキュリティソフトウェアまたは、アンチウイルスソフトウェアのセキュリティ機能によってはシステムの機能が正しく利用できない場合があります。

10. 修了証書等の交付

資質向上研修の全科目を履修し、必要な知識及び技能を修得したと認められた方に修了証（三重県放課後児童支援員等資質向上研修修了証）を後日郵送にて交付いたします。

※全国の自治体において効力を有するものですが、国家資格ではありません。

受講科目の終了認定は、以下で確認をさせていただきます。

放課後児童支援員等資質向上研修リフレクションシート	科目動画視聴後にシステム内で入力
研修レポート(400字程度)	全科目履修後にシステム内で入力

※記載された内容については、修了の評価には用いません。

11. 研修辞退(キャンセル) について

やむを得ない事情により、研修をキャンセル(辞退)する場合は、ユマニテク教育支援センターまでご連絡ください。

12. 個人情報の取り扱い

受講申込書に記載された個人情報については、適正な管理を行い、本事業の運営以外の目的に使用することはありません。なお、お申込み時に提出された、公的書類、資格証の写し(コピー)は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

※記載された個人情報等は、研修事業の実施主体である三重県子ども・福祉部と受託者である一般財団法人ユマニテク教育支援センターで共有して研修を実施させていただきます。

13. その他

- ・本研修は、研修期間内にシステムを使用して受講を行いますので、出欠確認等はありません。ご自身の都合の良いお時間で研修を進めていただき、研修期間内に全ての科目を履修終了し、科目毎のリフレクションシート及び終了時の研修レポートを入力してください。
- ・研修は、申込者本人のみとなっております。代理受講や集団受講はできません。
※顔認証システムにより本人確認を行います。
- ・9のシステム利用環境を良く読み、環境をご準備ください。環境設定やPC・カメラ等の購入についてのサポート等は一切行いませんので、必ず受講者側でご準備ください。
- ・研修動画の録音・録画および写真撮影はご遠慮ください。

14. お問い合わせ先

【研修実施関係】

一般財団法人ユマニテク教育支援センター 研修係

〒510-0074 三重県四日市市鶉の森 1-4-28

Tel : 059-340-4575 (月～金 9:00～17:00)

メール : info-hes@humanitec.ac.jp

【研修制度・受講申込関係/受講者推薦先】

三重県 子ども・福祉部 子どもの育ち支援課 幼保サービス支援班 (担当:宮崎)

〒514-8570 三重県津市広明町 1 3

Tel : 059-224-2268 (月～金 8:30～17:15) / Fax : 059-224-2270

メール : miyazi01@pref.mie.lg.jp

別紙【令和5年度三重県放課後児童支援員等研修 カリキュラム】

一般財団法人ユマニテク教育支援センター

区分	放課後児童支援員等資質向上研修
受講期間	(前期) R5.11.6~R6.1.5
定員	150名

No.	科目名	内容	講義時間	講師		研修方法	受講期間
				所属	氏名		
1	放課後児童健全育成事業の役割と運営主体の責務・実践	①児童福祉法及び放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準による放課後児童健全育成事業を理解した育成支援 ②放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準と市町村が定める条例の役割を理解した育成支援 ③放課後児童クラブ運営指針による育成支援 ④放課後児童健全育成事業に係る通知を理解した育成支援 ⑤放課後児童支援員としての資格 ⑥先進的な育成支援の事例紹介	90分	岡山大学 教育推進機構 准教授	中山 芳一	eラーニング	R5.11.6~R6.1.5
2	発達障害児など配慮を必要とする子どもへの支援	①子どもの障害についての専門知識による支援 ②発達障害についての専門知識による支援 ③児童虐待の早期発見と早期対応 ④特に配慮を必要とする子どもの理解と対応 ⑤放課後デイサービス事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携した支援の実践	90分	岡山大学 教育推進機構 准教授	中山 芳一	eラーニング	R5.11.6~R6.1.5
3	子どもの発達の理解	①子どもの発達の概念や特徴を理解した育成支援 ②子どもの遊びや生活と発達を理解した育成支援 ③子どもの発達を理解した育成支援を行うための学習を継続する	90分	岡山大学 教育推進機構 准教授	中山 芳一	eラーニング	R5.11.6~R6.1.5
4	放課後児童クラブにおける安全・安心への対応	①安全計画の策定による児童の安全管理を徹底する ②事故防止のためのマニュアル策定（バス、感染症等）による安全対策を徹底する ③児童や保護者へ安全計画やマニュアルなどを周知・共有する ④地域特性に応じた災害や交通安全、不審者侵入などを想定した訓練や点検を行う ⑤救急対応（心肺蘇生法、AED、エビベン®の使用など）の訓練や研修を行う ⑥事故の発生時の対応と報告の役割分担を確認する ⑦ヒヤリ・ハット事例の収集及び要因の分析を行い必要な対策を取る ⑧ヒューマンエラーなど想定した安全対策と情報共有できる職場環境を作る	90分	A.M.I学童保育センター センター長	中野 健汰	eラーニング	R5.11.6~R6.1.5

別紙【令和5年度三重県放課後児童支援員等研修 カリキュラム】

一般財団法人ユマニテク教育支援センター

区分	放課後児童支援員等資質向上研修
受講期間	(前期) R5.11.6~R6.1.5
定員	150名

No.	科目名	内容	講義時間	講師		研修方法	受講期間
				所属	氏名		
5	子どもの人権と倫理	①子どもの人権への配慮や一人ひとりの人格を尊重した育成支援 ②子どもへの虐待の禁止と予防 ③子ども家庭福祉の理念と子どもの権利に関する知識 ④人権意識の育てる育成支援 ⑤最新の法令等を理解した育成支援 ⑥児童虐待の対応と児童相談所や保健センターなど連携 ⑦小学校や人権センターなど関係機関との連携	90分	岡山大学 教育推進機構 准教授	中山 芳一	eラーニング	R5.11.6~R6.1.5
6	個人情報の取扱いとプライバシー保護	①個人情報の保護と取扱い、管理を徹底する体制 ②雇用契約による守秘義務やプライバシー保護、就業規則などによる徹底 ③個人情報の保護と取扱いの保護者などへの周知や確認・同意 ④個人情報やプライバシーに配慮した相談や子育て支援 ⑤SNSなどインターネットの適正な利用と危険性の理解 ⑥運営主体や支援員による人権や子どもの人格を尊重した対応や法令順守 ⑦関係機関との連携と個人情報の取扱い	90分	A.M.I学童保育センター センター長	中野 健汰	eラーニング	R5.11.6~R6.1.5
7	保護者との連携と支援	①保護者への連絡確認と職員間の情報共有 ②保護者や関係機関との連絡体制と保護者の同意 ③個人情報の保護と緊急時の対応 ④保護者への面談などによる保護者支援 ⑤保護者や保護者組織と連携した育成支援 ⑥子どもの健康や心身の状況の観察や育成支援の記録 ⑦子ども状態の把握と安定した情緒で過ごせるための配慮 ⑧職員間の情報共有と事例検討 ⑨関係機関等と連携した事例検討	90分	日本放課後児童指導員協会 理事	籠田 桂子	eラーニング	R5.11.6~R6.1.5

別紙【令和5年度三重県放課後児童支援員等研修 カリキュラム】

一般財団法人ユマニテク教育支援センター

区分	放課後児童支援員等資質向上研修
受講期間	(前期) R5.11.6~R6.1.5
定員	150名

No.	科目名	内容	講義時間	講師		研修方法	受講期間
				所属	氏名		
8	家庭における養育状況の理解	①社会的養護の理念や実態の理解 ②施設養護と家庭養護の理解 ③家庭における養護の状況を理解した育成支援 ④ケアワークとソーシャルワークによる支援 ⑤子どもの権利擁護と支援者の職場倫理 ⑥子どもへの体罰や虐待の解消 ⑦専門的な支援を必要とする場合の関係機関との連携	90分	日本放課後児童指導員協会 理事	籠田 桂子	eラーニング	R5.11.6~R6.1.5
9	いじめや虐待への対応	①子どもの権利についての理解 ②施設における虐待と差別の禁止 ③放課後児童支援員の社会的責任と職場倫理 ④虐待と子どもの発達への影響の理解 ⑤差別や虐待についての記録と職員間の情報共有 ⑥要望や苦情への対応 ⑦児童相談所や保健センターなどの関係機関と連携した虐待への対応 ⑧いじめや人権侵害、虐待など発見と対応 ⑨人権や児童虐待についての職員研修	90分	岡山大学 教育推進機構 准教授	中山 芳一	eラーニング	R5.11.6~R6.1.5